

## 【R 1 8】 ノベル

C F N M

『私は身体検査で

〇ち〇ちんをいっぱい見ました』

～女のコの体験談風短編集～

作：七条右京

- 1、小学校 3 年生の身体測定
- 2、小学校 6 年生の身体測定
- 3、高校 2 年生の身体検査

「」は、私・女子達の会話

『』は、私の心の声

「」は、女の先生・検査担当の女性の会話

「」は、男子の会話

私が、身体検査で男子の全裸を見た体験談です。  
勿論、おちんちんもしっかりと見ましたよ。

## 1、小学校3年生の身体測定

私の通学していた小学校では、4月に行われる身体検査の他に、身長・体重・座高だけを測定する身体測定が年に3回行われていました。

身体測定当日は、放送でアナウンスがあると、教室から保健室まで、クラスの男子と女子が担任の先生に連れられて、一緒に移動します。

保健室には、男子と女子が一緒に入ります。

でも、男女一緒に行く訳じゃないのでお間違いなく。

保健室に入ると、

担任の女の先生：

「それじゃあ、男子はパンツだけの裸になっ

て、女子は男子が終わるまで、待っていなさい」

つまり、女子は男子の身体測定の様子を見ていて、男子が終わった後に、女子が行うと言う事です。

男子の羞恥心は、完全に無視です。

私達女子は、クラスの男子全員のパンツ1枚の裸の姿を、思う存分見る事が出来るのです。

このスタイルは、なんと小6まで同じでした。

小3の時の、9月の身体測定は、何時もとちよっと違っていました。

何時もの様に、クラスの男子と女子が保健室に入ると、

担任の女の先生：

「それじゃあ、男子」

「今日は、身体測定の後に、男子だけ発育調査も行うから、パンツも脱いだ裸になりなさい」

複数の男子：

「えっ、パンツも脱ぐんですか？」

「女子のいる前で、パンツを脱ぐんですか？」

「女子に、おちんちん見られるのやだ」

「おちんちん、出すのやだ」

「パンツ、脱ぎたくない」

など

複数の女子：

「えっ、パンツも？」

「男子のおちんちん、見れるの？」

「やだ、おちんちん」

「おちんちん、見てみたい」

「きゃあ、おちんちん」

「男子、可愛そう」

など

担任の女の先生：

「ちょっとみんな、静かにしなさい」

「女子は、おちんちんがどうのこの言わないの」

「男子、女子におちんちん見られる位、どうって事ないじゃない」

「いいから、早く全部脱ぎなさい」

男子は、しょうがないと言う暗い表情で、黙々と服を脱いで行き、最後のパンツも脱いで全裸になりました。

男子はみんな、無言になっていました。

それとは逆に、

複数の女子：

「あっ、〇〇君のおちんちん見えた」

「きゃあ、やだ、おちんちん見ちゃった」

「おちんちんって指みたい」

「おちんちん、可愛い」